

持続可能な社会に向けて、私たちができること

中学生サミット

「ただいまから市制50周年Plus1記念事業
大府市中学生サミットを開会します」

8月25日、市内4中学校の代表が議会に集結し、加藤健心議長の開会宣言により中学生サミットが始まりました。普段は市議会議員が座る厳かな席に緊張気味の生徒たち。市誕生から50年を数え、これからの50年をさらに住み続けたいまちにするためにどうすればいいのか。大府市の将来を担う中学生が、自分たちにできることを考えました。

学校教育課 ☎(46)3332

中学生サミットとは

まちづくりについて中学生の視点で考えるとともに、政策形成過程の仕組みを体験し、今後の学校生活や社会生活に生かすことを目的に開催。これからの50年も、大府市が魅力にあふれ、住み続けたいまちとなるために実践すべきことを「中学生サミット共同宣言」としてまとめました。



introduction

届け
私たちの思い





専門家から学ぶ SDGs研修会

May,20

サミット開催の3カ月前、「中学生サミット共同宣言」にSDGs(持続可能な開発目標)の視点を取り入れるため、日本大学理工学部の田中賢教授からSDGsについて学びました。

田中教授は2060年までに日本の人口が現在よりも3割減少するという将来像を示した上で、SDGsが掲げる17のテーマの重要性について解説し、「持続可能な社会を実現するためには、夢をしっかりと持ち、その夢に到達するためにどうしたらいいかを考えることが大切です」と助言しました。

interview 自分にもできるSDGs

大府北中学校 山下みらいさん

SDGsについて知ってはいましたが、自分には遠いことのように感じていました。ちょっとしたことで地域や社会を変え、SDGsの達成に貢献できると分かりました。自分にもできることをたくさん見つけ、一人一人が実践することで、大府市がよりよいまちになるような提案をみんなで考えます。



proposals

中学生サミット本番

全容をCheck!



topic

子ども医療費助成制度について



問

子ども医療費助成制度の対象年齢を拡大していく考えはありますか。

今は子ども医療証があるので、安心して病院で受診することができますが、中学校を卒業すれば、子ども医療証を利用することができません。県内の他市町村では医療費助成制度の対象年齢を18歳の年度末まで拡大する動きがあるようです。大府市でも対象年齢を拡大していく考えはないのでしょうか。対象年齢を拡大すれば、市民の健康を保とうとする意識を育てることができるし、若い世代にとって魅力的なまちになると思います。

大府西中学校
本多葵さん



答

大府の宝である全ての子どもたちのためにも、実施への課題を精査しながら、高校生までの子ども医療費助成制度の対象年齢拡大について、令和4年度からの開始を目指し進めています。

topic

SPORTS × SDGsについて



問

健康と環境に着目した取り組みは、どのくらい行われていますか。新しいイベントとして、プロギングを取り入れてみてはどうですか。

通学の際に、道端にたばこの吸い殻やペットボトルなどが落ちているのをよく見かけます。「健康都市おおぶ」として、健康だけでなく環境も守るため、「PlockaUp」(ごみ拾い)と「Jogging」(ジョギング)を掛け合わせたイベント「プロギング」を実施してはどうでしょうか。市内の環境も良くなるし、市民も健康に暮らせると思います。

答

市は「健康都市おおぶ」として、たばこによる健康被害を防ぐ取り組みや、身近な場所でウォーキングができる環境づくりを積極的に進めています。「プロギング」は、ジョギングによる心身の健康増進と清掃活動によるまちの環境美化を同時に図ることができるユニークな取り組みで、市でも情報発信などを進めているところです。



大府北中学校
古宮亮太さん



事前準備

生徒たちは「中学生サミット共同宣言」を取りまとめる前に、SDGsに関する基本的な知識や地方自治・市議会の仕組みを学ぶため、それぞれの専門家から話を聞きました。



大府北中学校 鈴木愛理さん



議員から直伝 市議会学習会

July,14

市議会の会議規則に倣って行われる中学生サミット。地方自治や議会の仕組みについて理解を深めるため、市議会の早川高光議長と加古守副議長から議員の構成や仕事について学びました。

早川議長は「市の重要事項は議会で決定している」「議員は市政についてさまざまな質問をしている」ことなどを伝えたほか、「皆さんが中学生の代表として『こんなまちにしたい』という自分の思いを市長に話してください」と生徒たちに呼び掛けました。議長らとの懇談の後、サミットの会場となる議場の紹介も行われ、生徒たちは本番の雰囲気をつかみました。

interview 生徒代表として

今まであまり議会のことを知らなかったで、すごく勉強になりました。議員さんたちが市民のことを思って、よりよい市となるために働いていることが分かりました。サミットでは、他の中学校の生徒たちと一つになって、思いの丈を発表できたらと思います。

2021.10 obu 8

中学生サミットを終えて

参加した生徒たちは、サミットを終えて、どのような大府の未来を思い浮かべたのでしょうか。大府をより良いまちにするために今自分ができることを、サミットの感想と合わせて紹介します。

I'll do it

地域に飛び出して盛り上げる

新型コロナの影響で、職業体験ができなかったのが、今回の経験はとて面白い思い出になりました。新型コロナが落ち着いて、市内のイベントが開催されるようになったら、積極的に参加し、若い力で盛り上げたいです。参加するだけでなく、「参画」につなげていくことで、市民の皆さんと一緒により良いまちにしていきたいです。

大府中学校 和波心音さん



I'll do it

健康であれば何でもできる

子ども医療費助成制度の対象年齢の拡大に向けて進めていることを知って、「さすが、健康都市おおぶ！」と感じました。岡村市長が答弁された「本市の宝である全ての子どもたちのために」という言葉にはとても感動しました。自分ができることは、これからずっと健康でいることだと思うので、いっぱい食べて、たくさん運動して、健康を意識して過ごしていきます。

大府西中学校 若狭康喜さん



I'll do it

地域の方と築く深い絆

大府のことを勉強することで、さまざまな取り組みを行っていることが分かり、市民として誇らしく思いました。住み続けられるまちにするため、地域の方との交流を深めていきたいです。元気にあいさつをしたり、ボランティア活動にも積極的に参加したりして、地域と深く関わっていきます。

大府北中学校 名嶋日菜さん



I'll do it

地産地消で大府を元気に

他の中学校の皆さんの意見を聞くことができ、いろいろな考えを共有できました。地域で採れたものを地域で消費することは、SDGsの観点から大事なので、地元の野菜や肉を自分の目で確かめて買い物をし、地産地消を実践していきたいです。

大府南中学校 深谷茅那さん

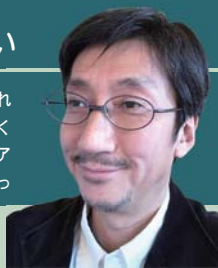


message 助言者から中学生へ

サステナブルな共同宣言 後輩たちへつないでほしい

より良いまちづくりのために、皆さんが率先してできることはたくさんあります。それをぜひ、家族や友達、先生と一緒に考えて、具体的なアクションとして実行してください。今回決定した中学生サミット共同宣言や、これから皆さんが実行するいろんなアクションがこの世代で終わってしまうことのないよう、次世代の後輩へと受け継いでほしいです。

日本大学理工学部まちづくり工学科教授 田中賢さん



採択

中学生サミットでの議論を踏まえ、全員で協議し、「中学生サミット共同宣言」を採択しました。宣言には、市の将来都市像「いつまでも 住み続けたい サステナブル健康都市おおぶ」を実現するための3つの柱を掲げています。宣言採択後には、市を代表して、岡村市長が宣言文に賛同の署名をしました。

「中学生サミット共同宣言」

私たちは、大府市全ての中学生を代表して、市の掲げる「健康づくり都市宣言」と「平和都市宣言」、そして人類が抱える課題の克服を目指す17の持続可能な開発目標SDGsに基づき、「いつまでも 住み続けたい サステナブル健康都市おおぶ」を実現するために、私たちにできる実践を決意として宣言します。

1. 住みやすいまちづくりに励みます

- (1)地域の行事やボランティア活動に積極的に参加し、地域の発展と活性化に努めます。
- (2)自ら進んであいさつをし、心温まる地域の和を広げます。
- (3)自身の健康に関心を持ち、バランスのとれた食事と日頃の運動を心がけ、健康で丈夫な体づくりに努めます。

2. 地域の課題に関心を持ち、環境への配慮に努めます

- (1)災害・交通・生活など地域の課題に着目し、改善に向けた意見の発信に努めます。
- (2)学校や家庭での節電、徒歩や自転車での移動、地産地消を心がけます。
- (3)マイバッグ・マイボトルの所持やペーパーレス化を心がけ、3R活動の推進に努めます。

3. 一人ひとりの個性を尊重し、目的達成に向かって協働できるパートナーシップを築きます

- (1)互いに認め合い、いじめや差別をしない・させない・見逃さない生活に努めます。
- (2)家族の一員である自覚を持ち、心安らぐ温かな家庭を築きます。
- (3)仲間・家族・地域の人々との協働に努め、一人ひとりにできることを考え実行していきます。

以上のことを実践の柱とし、人々が生き生きと暮らす50年後の大府市の姿に夢と希望を抱いて、大府市4中学校が協力して行動していくことを誓います。

令和3年8月25日 大府市4中学校 生徒会役員一同

大府市は、共同宣言の趣旨に賛同し、中学生の皆さんの活動を応援します。

令和3年8月25日 大府市長 岡村 秀人

